

## 社会貢献活動（平成24年度）

事業名	実施実績																				
<p align="center"><b>教員免許更新講習</b></p>	<p>受講者数            &lt;伊勢会場&gt; 本学：372 人            &lt;四日市会場&gt; じばさん三重：290 人</p>																				
<p align="center"><b>神職養成講習会</b></p>	<p>神職の階位（直階・権正階・正階）を取得講座            修了者数：夏季講習会40名、春季講習会45名</p>																				
<p align="center"><b>月例文化講座</b></p>	<p>年間テーマ：「文化とことば」            講師：文学部（コミュニケーション学科）教員            会場：本学4号館431教室            来場者：のべ 348 名</p> <table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%"><b>&lt;講座名&gt;</b></td> <td style="width:50%"><b>&lt;講師&gt;</b></td> </tr> <tr> <td>・日本人はなぜ英語が苦手なのか</td> <td>教授 豊住 誠</td> </tr> <tr> <td>・ケータイ文化とつながり確認のことば</td> <td>講師 前田至剛</td> </tr> <tr> <td>・英語はどこからきたのか？</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    —英語の起源をさぐる—</td> <td>教授 児玉玲子</td> </tr> <tr> <td>・岡倉天心とアメリカ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    —真の国際性とは—</td> <td>教授 池田久代</td> </tr> <tr> <td>・アホ・バカ分布と日本文化</td> <td>教授 外山秀一</td> </tr> <tr> <td>・ことばと文化の諸相</td> <td>教授 山田やす子</td> </tr> <tr> <td>・中国の茶文化について</td> <td>教授 張 磊</td> </tr> </table>	<b>&lt;講座名&gt;</b>	<b>&lt;講師&gt;</b>	・日本人はなぜ英語が苦手なのか	教授 豊住 誠	・ケータイ文化とつながり確認のことば	講師 前田至剛	・英語はどこからきたのか？		—英語の起源をさぐる—	教授 児玉玲子	・岡倉天心とアメリカ		—真の国際性とは—	教授 池田久代	・アホ・バカ分布と日本文化	教授 外山秀一	・ことばと文化の諸相	教授 山田やす子	・中国の茶文化について	教授 張 磊
<b>&lt;講座名&gt;</b>	<b>&lt;講師&gt;</b>																				
・日本人はなぜ英語が苦手なのか	教授 豊住 誠																				
・ケータイ文化とつながり確認のことば	講師 前田至剛																				
・英語はどこからきたのか？																					
—英語の起源をさぐる—	教授 児玉玲子																				
・岡倉天心とアメリカ																					
—真の国際性とは—	教授 池田久代																				
・アホ・バカ分布と日本文化	教授 外山秀一																				
・ことばと文化の諸相	教授 山田やす子																				
・中国の茶文化について	教授 張 磊																				
<p align="center"><b>古文書講座</b> (6月～12月)</p>	<p>テーマ「古文書を読もう！」(中世)「古文書を読もう！」(近世)            「中世文書を読む」「古文書を読もう！」(近代)            来場者：113名</p>																				
<p align="center"><b>神道博物館教養講座</b> (6月～11月)</p>	<p>年間テーマ            「伊勢の神宮を語る I —日本文化の源流を考える—」</p> <p><b>&lt;講座名&gt;</b>            「神々と神社宝物の精華」            「伊勢の神宮と日本人」            「伊勢神宮の創始と式年遷宮の展開」            「神宮式年遷宮の歴史」</p> <p>来場者：のべ483名</p>																				
<p align="center"><b>学生による子育て支援活動</b> ふれあい会「ぴよぴよ」を開催 (4月～1月)</p>	<p>未就園児とその保護者の方を対象に、子育て支援事業 ふれあい会            「ぴよぴよ」を開催しました。            年間25回の子育て支援活動に取り組みました。参加人数はのべ1            519名（732組）であり、1回平均60.9名            （29.2組）です。</p>																				

<p style="text-align: center;"><b>高校生英語 スピーチコンテスト</b></p>	<p>第13回高校生英語スピーチコンテスト 主催：文学部コミュニケーション学科 参加者：15校 40名</p>
<p style="text-align: center;"><b>特別講座</b></p>	<p>創立百三十周年・再興五十周年記念特別講座</p> <p>①開催日：平成24年7月7日（土） 講師：田尾 憲男 氏 (鉄道情報システム常勤監査役、本学客員教授、憲法・皇室法研究家) テーマ：「日本人の精神文化伝統をいかに継承するか」 会場：6号館622教室 来場者：46名</p> <p>②開催日：平成24年7月29日（日） 講師：所 功 氏 (京都産業大学名誉教授・モラロジー研究所教授・本学特別招聘教授) テーマ：「皇室に学ぶ徳育」 会場：ホテルグリーンパーク津 来場者：68名</p> <p>③開催日：平成24年9月29日（土） 講師：葛西敬之 (東海旅客鉄道株式会社代表取締役会長・本学客員教授) テーマ：「世界情勢と日本の課題」 会場：本学2号館 3階 231教室 来場者：179名</p> <p>④開催日：平成24年11月13日（火） 講師：菅野覚明 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科教授・本学客員教授) 演 題：「古事記の世界」 会場：本学2号館 階 224教室 来場者：158名</p> <p>⑤開催日：平成24年12月11日（火） 講師：藤原 正彦 氏 (数学者・作家・お茶の水女子大学名誉教授・本学客員教授) 演 題：「日本の再生」 会場：ウインクあいち(名古屋駅前) 来場者：515名</p>

その他

- ①三重県生涯学習センター主催による「みえアカデミックセミナー2012」
- ②津市教育委員会と共催の「歴史講座」
- ③名張市教育委員会と共催の「ふるさと講座」
- ④近鉄文化サロン阿倍野と本学共催講座「古事記を読む」「神道と佛教」「特別公開講座」

出張講座

本学関係主体 (学部等又は個人名)	依頼先(団体・担当者等)	事業内容	開催日	開催時間	会場	担当講師
広報担当	津市教育委員会 教育長 中野 和代	歴史講座	平成24年6月2日(土)	10:00~11:30	津市芸濃庁舎 2階大会議室	岡田登 教授
広報担当	津市教育委員会 教育長 中野 和代	歴史講座	平成24年6月9日(土)	10:00~11:30	津市芸濃庁舎 2階大会議室	岡野友彦 教授
広報担当	津市教育委員会 教育長 中野 和代	歴史講座	平成24年6月16日(土)	10:00~11:30	津市芸濃庁舎 2階大会議室	多田寛道 准教授
広報担当	津市教育委員会 教育長 中野 和代	歴史講座	平成24年6月23日(土)	10:00~11:30	津市芸濃庁舎 2階大会議室	上野秀治 教授
広報担当	津市教育委員会 教育長 中野 和代	歴史講座	平成24年6月30日(土)	10:00~11:30	津市芸濃庁舎 2階大会議室	谷口裕信 准教授
広報担当	津市教育委員会 教育長 中野 和代	歴史講座	平成24年7月7日(土)	10:00~11:30	津市芸濃庁舎 2階大会議室	田浦雅徳 教授
広報担当	三重県生涯学習センター 所長 河原 孝	みえアカデミックセミナー2012	平成24年7月21日(土)	13:30~	三重県文化会館 レセプションルーム	叶 俊文 教授
広報担当	三重県生涯学習センター 所長 河原 孝	みえアカデミックセミナー2012	平成24年7月21日(土)	13:30~	三重県文化会館 レセプションルーム	檜垣博子 教授
企画担当	名張市教育委員会	ふるさと講座	平成24年7月21日(土)	14:00~	名張市防災センター 防災研究室	清水 潔 学長
広報担当	三重県生涯学習センター 所長 河原 孝	みえアカデミックセミナー2012 移動講座	平成24年9月30日(日) ↓ 平成25年1月12日(土)	13:30~15:00	桑名市中央公民館 大研修室	岡田 登 教授
広報担当	三重県生涯学習センター 所長 河原 孝	ボランティア活動学び直し講座	平成25年1月25日(金)	13:30~15:30	玉城町保健福祉会館 ふれあいホール	守本友美 教授
広報担当	四日市市市民文化部楠総合支所 支所長 服部 誠夫	楠公民館 歴史文学講座	平成24年11月30日(金)	14:00~15:30	四日市市楠総合支所 楠公民館	深津睦夫 教授
広報担当	名張市教育委員会	ふるさと講座	平成25年2月23日(土)	14:00~	武道交流いきいき 1階 多目的ホール	大島信生 教授
広報担当	四日市市市民文化部楠総合支所 支所長 服部 誠夫	楠公民館 歴史文学講座	平成25年3月7日(木)	14:00~15:30	四日市市楠総合支所 楠公民館	岡田 登 教授

## 地域連携連携（平成24年度）

連携機関	連携事業	実施実績
伊勢市	<p>（具体的な連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域文化の振興に関する事。</li> <li>② 福祉の推進に関する事。</li> <li>③ 生涯学習の振興に関する事。</li> <li>④ 地域の活性化に関する事。</li> <li>⑤ 環境の保全・再生に関する事。</li> <li>⑥ 教育の充実に関する事。</li> <li>⑦ その他前条の目的を達成するために必要と認められる事項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 伊勢市が行う計画策定への教員参画（年間）</li> <li>② 平成24年度 市長トークinキャンパス～これからの伊勢～（1月）</li> <li>③ 環境ミーティング～電気自動車（EV）の活用～（3月）</li> <li>④ 教育支援ボランティア活動～教員志望の学生の活躍～（年間）</li> <li>⑤ 学生による市役所見学（5月）</li> <li>⑥ 学園報～伊勢市役所お仕事拝見～（年6回）</li> </ul>
いせ市民活動センター	<p>皇學館大学地域社会研究会</p> <p>学内で、平成23年3月1日に地域社会研究会として活動を開始。対外的には平成23年4月1日に「皇學館大学地域社会研究会」として、いせ市民活動センターの登録団体として活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 宇治山田☆山田プロジェクト 伊勢の夜祭（しんみち商店街、7/23）と宇治橋通りにぎわいフェスタ（宇治橋通り商店街、10/22）に出店し、売上金を東日本大震災復興支援の義援金にあてました。</li> <li>② しんみち商店街連携 伊勢の夜祭に（7/19）に10年ぶりに人気メニューであった「新味知カレーうどん」（伊勢うどんの麺に海鮮カレーをかけたもの）を復活しました。200食を販売したが、約1時間半で完売しました。</li> <li>③ 全国まちづくりカレッジ プレ全国まちづくりカレッジ 2011 in 宇治（10/22-23）と第12回まちづくりカレッジ2012 in 沖縄（3/2-3）の2回に参加し、活動しました。</li> </ul>
伊勢市のNPOなど	<p>べかプロジェクト</p> <p>東日本大震災後の復興支援を、伊勢市のNPOなどの方々と連携しながら行っている活動。</p>	<p>平成25年1月26日（土）に松阪市有滝漁港にて気仙沼へと送る漁船（べか船）二隻を送り出しました。</p>

<p>名張市</p>	<p>(具体的な連携事業)</p> <p>① 地域文化の振興に関すること。          ② 福祉の推進に関すること。          ③ 生涯学習に関すること。          ④ 地域の活性化に関すること。          ⑤ 快適環境の創造に関すること。          ⑥ その他前条の目的を達成するために必要と認められている事項。</p>	<p>①名張市が行う計画策定への教員参画          ②名張ふるさと講座の開催 (7月・2月)          第1回「名張と自然災害—名張川の恵みと氾濫—その歴史的影響—」清水 潔 学長          第2回「名張と万葉集」大島 信生 文学部 教授</p>
<p>三重県立博物館</p>	<p>今後職員の研究交流や人材育成、博物館を活用した大学教育カリキュラムの共同開発、本学佐川記念神道博物館との連携事業などを検討する。</p>	<p>県立博物館(布谷知夫館長)と皇学館大学(清水潔学長)は平成24年12月25日、本学で、連携協定の準備段階の覚書に調印。</p>
<p>三重県社会福祉協議会</p>	<p>スターティングプロジェクト</p> <p>① 福祉専門職の教育・養成に関する調査研究          ② 生活困窮者の実態調査          ③ 大学との災害支援体制の構築          ④ 若年者層のニーズ把握及び社会的資源活用の可能性に関する研究などを予定。</p>	<p>平成25年2月15日、双方の知的資源を相互に活用し、地域福祉の発展と人材育成に寄与することを目的に、包括連携協定を締結。</p>
<p>明和町</p>	<p>(具体的な連携事業)</p> <p>① 地域の歴史や文化の振興に関すること。          ② 地域の活性化に関すること。          ③ 教育の充実に関すること。          ④ 福祉の推進に関すること。          ⑤ その他、目的を達成するために必要と認められること。</p>	<p>平成25年3月25日、文化財を始め教育活動や福祉行政で今後、関係をさらに強化し、相互の機能向上を図ると共に、地域の活性化と人材の育成を図っていくために協定調印を締結。</p>
<p>後援: 三重県教育委員会、三重県産業支援センター、三重県経営者協会、伊勢市、伊勢商工会議所</p> <p>協力: 伊勢市産業支援センター</p>	<p>ビジネスプランコンテスト</p>	<p>地域活性化に結びつくビジネスプランを募集し、43件の応募がありました。</p> <p>1位 プラン名「救急医療への医学生派遣事業」(三重大学)          2位 プラン名「みどりのカーテン請負います」(大橋学園高校)          3位 プラン名「伝統工芸による神話の創造」(皇学館大学)</p> <p>伊勢商工会議所会頭賞          プラン名「伝統工芸による神話の創造」(皇学館大学)</p>